

The NICT JLE Corpus 書き起こし・基本タグ付与ガイドライン ver.2.1.3

はじめに	2
1. ファイル形式.....	2
1.1 フォーマット	2
1.2 ファイル名	2
2. タグの付与方法	2
3. 発話部分指定.....	2
4. 話者情報	3
5. テスト内のステージ・タスクごとの区切り情報	3
6. 単語の文字化の際の注意	5
6.1 パンクチュエーション	5
6.2 スペリング	7
6.3 その他注意事項	7
7. タグ類付与	8
7.1 フィラー <F></F>.....	8
7.2 繰り返し <R></R>, <R?></R?>.....	9
7.3 言い直し・自主訂正 <SC></SC>, <SC?></SC?>.....	10
7.4 中断した発話 <CO></CO>.....	12
7.5 固有名詞 <H pn="X"></H>.....	13
7.6 聞き取りに自信がない箇所 <?></?>	15
7.7 聞き取りが不可能な箇所 <??></??>	15
7.8 日本語の使用 <JP></JP>	15
7.9 ポーズ <.></.>, <..></..>	15
7.10 オーバーラップ	15
7.11 非言語音 <nvs></nvs>	16
7.12 笑いながらの発話 <laughter></laughter>	16
7.13 コンテキスト <ctxt></ctxt>	16
8. ヘッダ情報付与ガイドライン ver. 1.3.....	18

はじめに

この文書は、音声データの書き起こし及び基本タグ付与作業の際、作業者に示されたインストラクションを簡略化したものである。

1. ファイル形式

1.1 フォーマット

書き起こしファイルの形式はテキストファイルとする。

1.2 ファイル名

まず、ファイルの先頭に `<interview>` を、最後尾に `</interview>` タグを付与する（タグの付与方法については 2. を参照）。2 行目に、ファイル名を音声データと照合の上付与する。

ex) `<filename>file0001.txt</filename>`

2. タグの付与方法

本書き起こしにおいて、タグ類を付与する際は、タグとその挟み込む語の間にスペースを挿入しない。ただし、異なるタグが隣接する場合は間に 1 スペースを挿入する。

ex) `<F>Oh</F> <R>there <F>mm</F> is a</R> there is a station and this town located between the rivers.`

3. 発話部分指定

ヘッダ情報の次は、実際の発話の書き起こし部分(= body) になるので、冒頭に、開始タグ `<body basictag_version="2.1.3">` を付与する。ここで、必ず“”で囲んで、body のバージョンを明記すること。

`</stage5>` タグ（発話の最後尾）の次の行に 終了タグ `</body>` を付与する。尚、body のバージョンは、本「書き起こし・タグ付与ガイドライン」のバージョンを適用する。header のバージョン (= 書き起こしガイドラインのバージョン) とは異なるので注意。(header については、本マニュアル末尾を参照。)

4. 話者情報

話者情報として、面接官を A、受験者を B としてそれぞれの発話の先頭に開始タグ <A>, を、末尾に終了タグ ,を挿入する。<A>, の交替の際には必ず改行する。終了タグ はピリオド・クエスチョンマークの後ろに置く。

ex) <A>How are you?
Fine. Thanks. How are you?
<A>I'm fine, too. Thank you.

5. テスト内のステージ・タスクごとの区切り情報

SST インタビューは 5 つのステージから構成される。

- a) 各 STAGE 1 ~ 5 の区切りには、以下のようなステージ区切りタグを付与する。

ex) 開始タグ 終了タグ
<stage1> ... </stage1>
<stage2> ... </stage2>
<stage3> ... </stage3>
<stage4> ... </stage4>
<stage5> ... </stage5>

- b) 更に、STAGE 2, 3, 4 は 実際の task と 付属的な followup の 2 部分で構成されているため、それぞれの区切りに以下のような区切りタグを付与する。

ex) <stage1> %STAGE 1 開始

</stage1> %STAGE 1 終了
<stage2> %STAGE 2 開始
<task> %STAGE 2 内タスク開始

</task> %STAGE 2 内タスク終了

```
<followup> %STAGE 2 内フォローアップ開始
*****
</followup>%STAGE 2 内フォローアップ終了
</stage2>
<stage3> %STAGE 3 開始
→ 以下同様
```

インタビューによっては、タスクとフォローアップの境目があいまいな場合があるが、その際は書き起こし作業者の判断で区切りを挿入すること。また、インタビューによってはフォローアップがなく、いきなり次のステージが始まるものもあるが、その場合は <followup></followup> タグを挿入しないこと。

※ 1 ファイル全体のタグ構成は以下のようになる。

```
<interview>
<filename></filename>
<head version="1.3">
<date></date>
<sex></sex>
<age></age>
<country></country>
<overseas></overseas>
<category></category>
<step></step>
<TOEIC></TOEIC>
<TOEFL></TOEFL>
<other_tests></other_tests>
<SST_task2></SST_task2>
<SST_task3></SST_task3>
<SST_task4></SST_task4>
<SST_level></SST_level>
</head>
```

```
<body basictag_version="2.1.3">
<stage1></stage1>
<stage2>
<task></task>
<followup></followup>
</stage2>
<stage3>
<task></task>
<followup></followup>
</stage3>
<stage4>
<task></task>
<followup></followup>
</stage4>
<stage5></stage5>
</body>
</interview>
```

6. 単語の文字化の際の注意

6.1 パンクチュエーション

a) 使用可能な記号

- ◇ 句・文区切り記号（コンマ・ピリオド・クエスチョンマーク）[,][.] [?]
句・文区切りは、書き起こし作業者の判断で、適当な場所にコンマ・ピリオド・クエスチョンマークを挿入する。きちんとした疑問文の形になっていなくても、何かを確認したり、尋ねたりしているような文脈でかつ語尾が上昇調ならクエスチョンマークを挿入する。
- ◇ アポストロフィ [']
所有格，助動詞の短縮形など，通常アポストロフィを必要とする箇所に使用。
- ◇ ハイフン [-]
複合名詞など必要な箇所に適宜使用。
- ◇ ダブルクォテーションマーク [" "]

映画や本のタイトル，誰かの発話の引用など，引用全般に使用．必ずダブルクォーテーションを使用すること．シングルのクォーテーション[‘’]は，アポストロフィ ['] との混乱を避けるためにも，使用禁止とする．

b) 使用禁止の記号

◇ エクスクラメーションマーク [!]

文末が強調されていたり，感嘆文であっても [!] を付与してはならない．

◇ シングルクォーテーションマーク [‘’]

引用部分には，ダブルクォーテーションマーク [“”] を付与する．

◇ コロン・セミコロン [:] [;]

通常書き言葉ならコロン・セミコロンが置かれるような文脈でも，今回の書き起こしでは一切使用禁止．

◇ 括弧類 [()] [[]] [<>] など

[<>] に関しては，タグ類 (<F>,<R> …) には当然使用可だが，本文には不可．

◇ 数字類

1,2,3,4… などのアラビア数字，I, II, III などのローマ数字は一切使用禁止とする．数字を発話している場合は，すべてスペルアウトする．

ex) one, two, three, first, second

その他 a) 以外の記号全般使用禁止．特に，¥,\$,#,& などスペルアウト可能な記号はすべて文字化すること．

c) スペースの挿入

◇ スペースを挿入しなければならない箇所

① 句・文区切り記号（コンマ・ピリオド・クエスチョンマーク）の直後に 1 スペース挿入．（ただし，, タグの直前にはスペース挿入禁止）

② 異なるタグが隣接する場合は間に必ず 1 スペース挿入．

ex)

<F>Oh</F> <SC>it's</SC> <F>mhm</F> <./></.> <F>er</F>
<./></.> <F>a</F> I think it's <F>er</F> <./></.> to keep the green
plants <R>vivid</R> vividly.

- ③ アルファベットを一字ずつ発音している場合は、文字と文字の間に 1 スペース挿入する。

☆ スペース挿入不可の箇所

- ① 単語とそれを挟み込むタグの間にはスペースを挿入しないこと。
② 話者情報 <A>, タグの前後にもスペースは挿入しないこと。

6.2 スペリング

原則としてアメリカン・イングリッシュのスペルを使用すること。英語はなるべく聞き取った通りに筆写する。たとえ日本語英語的な発音だったとしても、文脈等からどの単語を発話しているのか分かれば、正解としてスペルアウトする。また、例えば [r] と [l] の違いなど発音の細かい特徴は無視してよい。

6.3 その他注意事項

a) 略語・略号・その他アルファベットの読み上げ

アルファベットを一字ずつ発音している場合は、個々の音を大文字で書き起こし、文字と文字の間に 1 スペース挿入する。

ex) B B C / O K / C D / U C L A

ただし略語でも、続けて一語として発音している場合はスペースなしで表記する。

ex) T O E F L / N A S A / J A V A / A M D A

b) 日付・番号・その他数字全般

日付など数字を発話している場合は、アラビア数字などの記号は使わず、すべてアルファベットでスペルアウトする。

ex) O thirty five hundred × 3500

c) 短縮表記

No.(number), vol.(volume), est.(established) などの短縮表記は一切禁止とする。すべてアルファベットでスペルアウトする。

ex) O number three × No. 3

7. タグ類付与

本書き起こしで使用するタグは以下の 15 種類である。

<F></F>	フィラー・あいづち・感動詞	Filler/Filled pause
<R></R>	繰り返し（聞き取りに自信がある）	Repetition
<R?></R?>	繰り返し（聞き取りに自信がない）	Repetition?
<SC></SC>	自己訂正（聞き取りに自信がある）	Self-Correction
<SC?></SC?>	自己訂正（聞き取りに自信がない）	Self-Correction?
<CO></CO>	途中で中断した発話	Cut Off
<?></?>	聞き取りに自信がない語	
<??></??>	まったく聞き取り不可能な語	
<H pn="X"></H>	固有名詞・差別用語など	Hidden
<JP></JP>	日本語	JaPanese
<.></.>	2 秒～3 秒のポーズ	
<..></..>	3 秒以上のポーズ	
	<A>との対話のオーバーラップ部分	OverLapping
<nvs></nvs>	非言語音	Non-Verbal Sound
<laughter> </laughter>	笑いながらの発話	Laughter
<ctxt></ctxt>	場面上重要な非言語的な出来事・情報	ConTeXT

単語とそれを挟み込むタグの間にはスペースを挿入しない。

7.1 フィラー <F></F>

フィラーとは，“uh-huh”などの相手の発話に対する相づちや，“mm”などの次の

発話を考えている時に発せられるつなぎの音である。代表的なフィラーとして、以下のようなものがある。

ex) ah, eh, er, em, erm, mm, mhm, uhu, ah-huh, oh, hum, wow

上記のどれにも該当しないような音でも、フィラーと判断したら、なるべくその音を忠実に文字化する。フィラーはすべて <F></F> タグで囲む。複数のフィラーが連鎖しているときは、ひとつひとつのフィラーに別々に <F></F> タグを付与する。

ex) ○ <F>ah</F> <F>mm</F> <F>mhm</F>
× <F>ah mm mhm</F>

もし日本語らしいフィラーを発しているときは、以下のように <F></F> タグと <JP></JP> タグ(7.2 参照)を二重で付与する。

ex) <JP><F>etto</F></JP>

入れ子の順番は必ず <JP>:外, <F>:内 にすること。

7.2 繰り返し <R></R>, <R?></R?>

全く同じ語・表現を繰り返している場合、最初に発せられた方に <R></R> タグを付与する。

ex) When <R>he</R> <R>he</R> he was a child ...

ex) <F>Oh</F> <R>there is a</R> there is a station and this town located between the rivers. ※間にフィラーが挿入されていても無視する。

ex) When <R>he</R> <F>er</F> <R>he</R> <F>um</F> he was a child.

ex) <F>Oh</F> <R>there is <F>er</F> a</R> there is a station and this town located between the rivers.

後続する語の断片にも <R></R> を付与する。

ex) When he <R>wa</R> <R>wa</R> was a child.

ex) <R>I wan</R> I want to build a kind of rotary in the station.

語の断片の表記は一概に統一しにくいだが、次の単語が分かっている場合にはスペルをそれに合わせて表記する。

ex) This book is <R>inter</R> interesting.

しかし、音の切れる場所によっては、文字化するとどうしても表記が異なってしまふものがある。その場合はその音に近い表記でかまわない。表記上は後続の語と異なるが、断片と判断できれば <R></R> タグを付与する。

ex) I think he is a very <R>ka</R> kind person.

ex) My <R>pe</R> parents don't allow me to live in Tokyo.

以下のように、<R></R> が <SC></SC> (7.3 参照) に内包される例もある。

ex) <SC>I think <R>he</R> he is</SC> I think he is a very kind person.

<R></R> 内でフィラーが発生することもある。

ex) <F>Oh</F> <R>there <F>mm</F> is a</R> there is a station and this town located between the rivers.

上記のような <R></R> の対象になる箇所の聞き取りに自信がない場合は <R?></R?> を付与する。

7.3 言い直し・自主訂正 <SC></SC>, <SC?></SC?>

<R></R> タグでは全く同じ語・表現の繰り返しまたは後続する語の断片が対象であった。一方、同じ言い淀みでも、発話者が適切な表現を見つけるために、違った表現で言い直したり、間違いに気づいて自己訂正したりするケースもある。こういった、「話者が最終的にある表現に決定するまでの言い淀み」部分には <SC></SC> タグを付与する。よって、<SC></SC> タグ付与部分と後続部分は同じであってはならない。

ex) He <SC>don't</SC> doesn't know anything about this.

ex) <SC>He passed the exami</SC> he will pass the examination <SC>last</SC> next year

また、次の例のように 正しい表現→誤った表現 の順の言い直しであっても、後ろに来る方の表現を「話者が最終的に適切だと判断した表現」であると考え、通常通り前の部分を言い淀みとし、<SC></SC> タグを付与する。

ex) He <SC>doesn't</SC>¹ don't² know anything about this.

1:言い淀み部分

2:話者が最終的に適切だと判断した部分

言い淀み表現が複数ある場合は、区切りだと判断したところで <SC></SC> タグを括り直す。

ex) It would be a kind of trash so <SC>it's a</SC> <SC>it's waste</SC> it's a kind of waste.

表現 A→表現 B →表現 A のように、最初の言いよどみが、最終的に話者が適切と判断したものと同じであっても、間に別の言い淀み Bが入っているため、最初の表現 Aにも表現 Bにも <SC></SC> が付くことになる。

ex) He <SC>doesn't</SC> <SC>don't</SC> doesn't know anything about this.

単なる繰り返し (<R></R>) なのか、言い直し・自己訂正 (<SC></SC>) なのか判断に迷う例があるが、以下のように対処すること。

ex) It's difficult to keep the plants vivid vividly.

“vividly” (副詞) の言い淀みとして “vivid” (形容詞) を発話したのか,” vivid” は “vividly” の単なる音の断片なのか判断できない。

→原則として <R></R> 付与を優先させる。

ex) ○ It's difficult to keep the plants <R>vivid</R> vividly.

ただし、動詞の人称や時制に関しては、<SC></SC> を優先させる。

ex) I <SC>close</SC> closed the door when I left school.

同じく、名詞の単複に関しても、<SC></SC> を優先させる。

ex) <SC>Many line</SC> many lines are passing the station so this must be a big town.

ex) I'm I am a high school student.

“I'm” も “I am” も発音上の違いだけで、基本的な意味は変わらないが、やはり <SC></SC> を付与するのか？

→<SC></SC> を付与する。

ex) ○ <SC>I'm</SC> I am a high school student.

以下のように、<R></R> が <SC></SC> に内包される例もある。

ex) <SC>It's <R>pla</R> planning</SC> it's planned by my teacher.

“it's planned” に対する言い淀みが “it's planning” で、“it's planning” 内に “pla” という “planning” の断片が入っている。

ただし、以下のような場合は <R></R> を <SC></SC> に内包させない。

ex) ○ It's <R>pla</R> <SC>planning</SC> planned by my teacher.

× It's <SC><R>pla</R> planning</SC> planned by my teacher.

以下のように、<SC></SC> が <SC></SC> に内包される例もある。

ex) <SC>It's <SC>planned</SC> planning</SC> it's planned by my teacher.

“it's planned” に対する言い淀みが “it's planning” で、“it's planning” 内で “planned” から “planning” への自己訂正が入っている。

<SC></SC> 内でフィラーが発生することもある。

ex) <SC>It's <F>er</F> planning</SC> it's planned by my teacher.

上記のような <SC></SC> の対象になる箇所の聞き取りに自信がない場合は <SC?></SC?> を付与する。

7.4 中断した発話 <CO></CO>

発話者が次の言葉が出ず黙り込んでしまったり、相手の interrupt によって中断されてしまった発話、つまり明らかに文の途中で終わっている発話には、全体を <CO></CO> で囲む。

ex) <A><F>Oh</F> O K. So it's getting dark but is it O K for you to come out? <CO>Is that</CO>.

学習者の発話には、しばしば“So”と言いかけてそのまま言葉に詰まってしまう場合がよくある。その場合も、以下のようにタグ付けする。

ex) <CO>So</CO>. <F>Um</F>.

</CO> タグの直後には必ずピリオドを置くこと。文の途中に<CO></CO> タグが挿入されることはあり得ない。よって、以下のようなタグ付与は不可。

ex) × <CO>So</CO> <F>um</F>.

また，“So”の後のフィラーは中断された発話の一部とはしないこと。よって、以下のようなタグ付与範囲も不可。

ex) × <CO>So <F>um</F></CO>.

7.5 固有名詞 <H pn=" X" ></H>

固有名詞のうち，コーパス公開時に支障が出るような箇所には <H pn="X"></H> タグを付与する。X 部分には，下記で指定する固有名詞コードからタグ付与の対象語に適したものを選び，代入する。特に試験官・受験者・その他一般人を個人としてを特定できてしまうような語には必ず付与する。主に対象となるのは個人名・学校名・企業名であるが，それらが直接言及されていなくても，前後の文脈から特定可能な場合は，適当な範囲に<H pn="others"></H>タグを付与する，また，差別的発言や誹謗・中傷が出現した場合も，発言全体にこのタグを付与する。タグが必要かどうか迷った場合は取り敢えず付与しておく。

有名人（政治家・作家・歴史上の人物・芸能人など）の名前や本・映画の題名などには特に必要なし。（ただし，それらを対象にした誹謗・中傷には付与。ちょっとした評価・批判と判断されるものには付与しない。迷った場合は付与。）

対象となるもの	対象とならないもの
受験者・試験官の名前(ニックネームも)	話者およびその関係者の特定に関係しない企業名・店名
受験者または試験官の家族・友人の名前	映画・本のタイトル
受験者または試験官の家族・友人の所属する会社・学校名	芸能人・作家・政治家・その他有名人の名前
その他受験者・試験官・その家族友人の特定に関わると判断される事柄	ペットの名前

ex) <A>My name is <H pn="A's name">Hanako Yamada</H>. May I have your name?

My name is <H pn="B's name">Taro Yamada</H>. Nice to meet you.

<A>Nice to meet you, too, <H pn="B's name">Taro</H>. What do you do?

I'm studying History at <H pn="school name1">A B C University</H>.

注：コーパスデータ公開時には、<H></H>タグ付与対象の語は伏字に置換済み。

固有名詞コード

対象語	固有名詞コード
1) 試験官の名前	<H pn="A's name">...</H>
2) 受験者の名前	<H pn="B's name">...</H>
3) 学校名	<H pn="school name1">...</H> (コード最後は任意の通し番号)
4) 会社名	<H pn="company name2">...</H> (コード最後は任意の通し番号)
5) その他	<H pn="others2">...</H> (コード最後は任意の通し番号)

コード内の通し番号について.

上記固有名詞コードのうち、3) 4) 5) については、一発話内で出現順にコードの最後に通し番号を付け、同じ種類コードが付く複数の語の区別を可能にしておく。一発話内で同じ語が2回以上出現する場合も想定されるが、必ず一つの語には一つの番号を付与しつづけること。一発話内で、ある語が一度しか出現せず、かつ同じ種類のコードが付く語が他に出現しない場合でも番号(この場合、1)を付与すること。

ex) I am studying at <H pn="school name1">K University</H>. Before that, I used to study at <H pn="school name2">F University</H>. Two years ago, I moved to <H pn="school name1">K university</H> to do more specific research.

ex) My elder brother's name is <H pn="others1">Ken</H>. He is working at <H pn="company name1">L Bank</H>. His daughter, I mean, my niece is very pretty. Her name is <H pn="others2">Hanako</H>.

7.6 聞き取りに自信がない箇所 <?></?>

文脈推測等によってなんとか文字化できるが、聞き取りに自信がない箇所には <?></?> を付与する。

ex) <?>They</?> should be very beautiful.

繰り返し、言い直し・自己訂正と判断できるが、聞き取りに自信がないものには <?></?> タグではなく、<R?></R?> タグ、<SC?></SC?> タグをそれぞれ付与する。

7.7 聞き取りが不可能な箇所 <??></??>

何を言っているのか全く聞き取れず、文脈推測も無理で、文字化不可能な場合は、<??></??> タグを空で付与する。

ex) <??></??> should be very beautiful.

7.8 日本語の使用 <JP></JP>

日本語をそのまま使用している場合は、<JP></JP> タグを付与する。

ex) <F>Mm</F> <R>I</R> I don't like <JP>osechi</JP>.

もしフィルターが日本語らしければ、以下のように <F></F> タグと <JP></JP> タグを二重で付与する。

ex) <JP><F>etto</F></JP>

入れ子の順番は必ず <JP>:外, <F>:内, にすること。

7.9 ポーズ <.></.>, <..></..>

発話中にポーズがあれば、2秒～3秒のポーズには <.></.> タグを、3秒より長いポーズには <..></..> タグを付与する。

7.10 オーバーラップ

<A> と の発話が重なっている部分には タグを付与する。

ex) <A>So what are you going to do this weekend?

<F>Oh</F> yes. That's what I'm going to tell you about.

7.11 非言語音 <nvs></nvs>

笑い・ため息・咳・あくびなどの非言語音にはそれぞれ該当する箇所に、

<nvs>laughter</nvs> (笑い・照れ笑いも含む.)

<nvs>sigh</nvs> (ため息)

<nvs>cough</nvs> (咳)

<nvs>yawn</nvs> (あくび)

を付与する。それぞれのタグの表記は上記の通りにすること。例えば、

<nvs>laugh</nvs> などは間違い

また、2話者の <nvs>laughter</nvs> はしばしばオーバーラップするので、その場合は以下のように タグを付与する。

ex) <A>It's a kind of <JP>mama-chari</JP>. <nvs>laughter</nvs>
.
<nvs>laughter</nvs> What does <JP>mama-chari</J
P> mean?

7.12 笑いながらの発話 <laughter></laughter>

笑いながら発話している場合は、その該当範囲を <laughter></laughter> タグで囲む。

ex) It's a kind of <laughter><JP>mama-chari</JP></laughter>.

7.13 コンテキスト <ctxt></ctxt>

場面上重要な情報があれば、非言語的な出来事でも必要に応じて <ctxt></ctxt> タグで囲んで表す。<ctxt></ctxt> 内の表現は自由表記とする(ただし英語)。学習者が課題のカードを読んでいる箇所で長い沈黙がある時には必ずこのタグを挿入する。必ず、<ctxt></ctxt>タグは <A> や 行の外に出し、<ctxt></ctxt> 単独行を構成する。

ex) <A>O K. Next, let's do a role play.
<ctxt>The interviewer is choosing a card.</ctxt>
<A>Here you are.
<ctxt>Somebody enters the room.</ctxt>
O K.

<ctxt>The interviewee is reading a card and thinking for a while.</ctxt>

I'm ready.

8. ヘッダ情報付与ガイドライン ver. 1.3

ヘッダ情報として、話者に関する情報を以下のタグ・フォーマットで、ファイル冒頭に添付する。

<head version="1.3"> %ヘッダ情報開始点. フォーマットのバージョンを “ ” で囲んで明記.

<date>2001-11-01</date> %本 SST 実施日.

<sex>Female</sex> %性別. Male/Female

<age>49</age> %年齢. アラビア数字で.

<country>Japan</country> %主に育った国

<overseas>1m</overseas> %海外在住経験

<category></category> %業種

<step>3</step> %英検取得級

<TOEIC></TOEIC> %TOEIC スコア

<TOEFL></TOEFL> %TOEFL スコア

<other_tests></other_tests> %その他英語の試験のスコア・級

<SST_level>3</SST_level> %本 SST のレベル

<SST_task2>room</SST_task2> %stage2 でのタスク

<SST_task3>invitation_beginner</SST_task3> %stage3 でのタスク

<SST_task4>restaurant</SST_task4> %stage4 でのタスク

</head> %ヘッダ情報終了点

☆ 海外在住経験および英検取得級は、以下のコード表を参照の上、適切なコードで表記する。

海外在住経験コード表

海外在住期間	コード
一ヶ月未満	1m
一～十二ヶ月	1_12m
一年以上	1y

英検所持級コード表

級	コード
5 級	5
4 級	4
3 級	3
準 2 級	2.5
2 級	2
準 1 級	1.5
1 級	1

SST タスクコード表

ステージ	タスク名	コード
stage2	room	room
	restaurant	restaurant
	neighborhood	neighborhood
	classroom	classroom
	ski	ski
	map	map
	electronics shop	electronics shop
	shopping	shopping_beginner shopping_intermediate shopping_advanced
	invitation	invitation_beginner invitation_intermediate invitation_advanced
	train	train_beginner train_intermediate train_advanced

	travel	travel_beginner travel_intermediate travel_advanced
	landlord	landlord_beginner landlord_intermediate landlord_advanced
task4	movie	Movie
	zoo	Zoo
	restaurant	Restaurant
	department store	department store
	grocery store	grocery store
	stray cat	stray cat
	train station	Train station
	car accident	car accident
	camping	Camping